		令	和5年度	基金シ	— -		(内閣	府•農林水産省)	
基金の名称	中小企業イノ	/ベーション創出推進基金	£	担当部	局		農林水産技術会議	事務局	
基金事業の名称	中小企業イノ	/ベーション創出推進事業	ŧ	担当課	室		研究推進課		
基金の造成法人 等の名称	公益社団法人農林	k水産・食品産業技術振	興協会	作成責任	E者		研究推進課長 藤田	晋吾	
根拠法令	科学技術・イノベーション成20年法律第63号)第2	ン創出の活性化に関する 2条、第34条の8~14	る法律(平	•					
関係する計画・ 通知等	「新しい資本主義のグラ 4年6月7日閣議決定) 「統合イノベーション戦略	D基本方針2022」(令和4 5ンドデザイン及び実行記 各2022」(令和4年6月3日 今年計画」(令和4年11月2	計画」(令和 基金シート番号 日閣議決定)						
事業の目的			際、公共調達の活用が重要であり、公共調達を見据えた技術開発支援であるSBIR制度の支援対象に新たフェーズを追加し、スタートアップ等による先端技術分野の技術実証の成果の社会実装を推進する。						
現状∙課題	政府は、令和4年11月に「スタートアップ育成5か年計画」を策定し、スタートアップへの強力な支援を行っていくこととしており、SBIR(Small/Startup Business Innovation Research)制度についても強力に推進していくこととされている。具体的には、SBIR制度の抜本拡充として令和4年度第2次補正予算において、「中小企業イノベーション創出推進事業」(フェーズ3基金事業)が措置されたところ、「スタートアップ育成5か年計画」を踏まえ、本事業の活用により、スタートアップの有する先端技術の早期の社会実装を強力に推進していく。								
事業概要 (5行程度以内)	(1) ② 取崩し型 □ 回転型 □ 保有型 □ 運用型 □ その他 (2) □ 貸付 □ 債務保証 □ 利子助成・補給 ② 補助 □ 補てん □ 出資 □ 調査等 □ その他 基金を造成し、当該基金を活用したスタートアップ等による研究開発を促進し、その成果を国主導の下で円滑に社会実装するため、先端技術分野を対象に、スタートアップ等が社会実装に繋げるための大規模技術実証(フェーズ3)を実施する。								
事業概要URL	https://www.affrc.maff.	go.jp/docs/phase3kikin/	'index.htm						
基金事業の これまでの取組 とその成果		存から農林水産省に予算 水産省が補助金を交付し		法人農林水	∴産•食	品産業技術振	興協会に基金造成。		
		□ ①不確実な事故等の発	き生に応じて資	資金を交付する事業 左記に該当す			する理由(④の場合、基金によらざるを得ない理 由)		
	 基金事業の類型	□ ②資金の回収を見込ん	もで貸付等を [∙]	行う事業		本基金で実施する事業は、スタートアップが有する先端技術 の実証を複数年度にわたって支援するものであり、未だ社会			
基金方式の 必要性	(該当するものを選択)	③事業の進捗が他の	事業の進捗に	依存するもの)	ることから、各年 的な支出が必要	おらず、市場環境の変 度の所要額をあらかじ であると同時に、資金 証を安定的かつ効率的	め見込み難く、弾力 調達力の低いスタート	
		☑ ④その他					にわたる財源を確保し リ対応することとしてい		
	法律に根拠を有する 場合、該当条項	_							
	基金造成年度	令和4年度		·予備費等 	<u> </u>	正(第2号) 一般会計	国費額 (単位:百万円)	46,720	
基金の造成の 経緯①	資金交付の形態	直接交付	原資となった	分 資金の名称 ^{算項・目)}	(項)中 ベーシ 費 (目)中 ベーシ	ッ小企業イノ ション創出推進 ション創出推進 ション創出推進 技補助金	補助金適正化法 適用の有無	有	

関連す レビュー:		作成年度	令和4年	度事業名	SBIR(Small B Research)制度				事業番号	2023-府	₹-22-00	
		【基金事業の終了予定時期】 令和14年度末に基金事業終了予定										
		【基金事業の終了予定時期を設定していない理由】 -										
終了予定	2時期	【基金事業の新	1750 1 4172011									
			令和9年度(ただし、基金の残額が無くなり次第、新規受付を終了) 【基金事業の新規申請受付終了時期を設定していない理由】									
施行令第	4条第 で定め	https://www.m 農林水産省中	naff.go.jp/j/s 小企業イノベ	トーション創出推進導 upply/hozyo/gikai/a トーション創出推進導 upply/hozyo/gikai/a	ttach/pdf/2303 译業補助金実施	01_081-1-1 要領						
活動内! (アクティヒ			の大規模技	術実証を行うスター	トアップ等への衬	載助						
活動目標及び活動実績①	薬及び	活動目		活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見	
		先端技術分野 アップの大規模 を通じた社会3	模技術実証	採択件数	活動実績当初見込み	件件	令和4年	丰度新規	令和5年3月 末に基金造 成	25 14	令和6年4 以降に第 公募実施	
1の部 (アウからの	本事業は原則TRL(※)5以上を対象とした先端技術分野のスタートアップの大規模技術実証を採択要件とし、社会実装直前のT成果目標() 1の設定理由 (アウトブットが) からのつなが り)									(フォロ- E度末に、 らり、原則		
		成果目		定量的な成果指	i標	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度		年度 6 年	
		全プロジェクト(の促進に向け) トーンの達成又制の整備	たマイルス		日標値	%				(1)70%(R (2)70% (F		
成果目標成果実績	(1)-1	(1)R6年度末 のステージゲ- よるTRL6以上 率	-ト審査に への到達	(1)R6年度末(2年 にTRL6以上に到達 件数/R6年度末ま TRL6以上に引き上 計画のプロジェクトイ	した でに げる							
(短期アウトカム)	(7)14)	(2)R7年度末 のステージゲ- よるTRL6以上 率	-ト審査に への到達	(2)R7年度末(3年 ICTRL6以上に到達 件数/ステージゲー 査での絞り込み後の 件数(※)	した ・ト審 ・達成度)採択	%	令和4年度新規		令和5年3月 末に基金造 成			
				(※)設定年度末にる 全継続プロジェクトの								

目標と計の出典	実績及び 値の根拠 で用いた・データ名)/定性的な トカムに関 成果実績	_								
1	(短期アウト	プロジェクトのTRLの進捗管	期目標から引き続き、中期目標として、大規模実証が終了する令和9年度末まで、(1)令和8年度末、(2)令和9年度末と毎年、各ロジェクトのTRLの進捗管理・確認を実施する。また、実施各省の当該技術実証成果の初期市場の創出に向けた取組を図る成果指として、(3)プロジェクトのロードマップ作成・公表を設定。							
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度	年度
成里日堙及75		のステージゲート審査に よるTRL7以上への到達 率 (2)R9年度末(5年目末) のステージゲート審査に	(1)R8年度末(4年目末) にTRL7以上に到達した 件数/ステージゲート審 査での絞り込み後の採択 件数(※) (2)R9年度末(5年目末) に社会実装済み及び社	成果実績	%					
成果実績①-2 (中期アウトカム)	会実装直前のTRL7完了 への到達率 (3)R9年度末(5年目末) における技術実証成果の 社会実装に向けたプロ	会実装直前のTRL7完了 に到達した件数/ステージゲート審査での絞り込み後の採択件数(※) (3)R9年度末(5年目末) におけるプロジェクトごとのロードマップ作成・公表件数/社会実装済み及	目標値	%	令和4年度新規		令和5年3月末 に基金造成	(1)80%(R8年度 (2)90%(R9年度 (3)100%(R9年 <u>原</u>	末)	
			び社会実装直前のTRL7 を完了した件数	達成度	%					
目標と計の出典	実績及び 相値の根拠 て用いた・データ名)/定性的な トカムに関 成果実績	_								
1	(長期アウト	全技術実証プロジェクトは、 達成した全案件を対象とし の実行を踏まえ、長期アウ	た中期アウトカム(3)実施名	各省におり	ける技術実	証成果の社会	会実装に向け	長又は社会写 ナたプロジェ	実装直前のTRL7を クトごとのロードマッ	完了 ップ

成果目標及び 成果実績①-3	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度 令和3年度	令和4年度	目標最終年度		
	み及び社会実装直前の TRL7を完了したプロジェ	R14年度末の社会実装済み及び社会実装直前の TRL7を完了したプロジェクトの新市場獲得効果 (累計売上高)/同プロ	成果実績	倍			14 平及		
	(累計売上高)	ジェクトの予算投入額	目標値	倍	令和4年度新規	令和5年3月 末に基金造 成	1~8倍以上		
			達成度	%					
目標値の根拠 として用いた 統計・データ名 出典)/定性的な	米国SBIR実施省庁であるDODのEconomic Impact Reports (1995年から2012年までの投入予算額に対し、1995年~2018年累計で企業の売上規模の約8倍のアウトカムを達成)を参考に、公募している14テーマごとに、各市場等の状況を鑑み、目標とするアウトカムをそれぞれ個別に設定し、公募要領に記載している。14の個別分野ごとに市場(新規市場、既存市場等)が全く異なり、一律に設定できないため、1~8倍と設定。14テーマの個別アウトカムについては、公募要領参照。 農林水産省中小企業イノベーション創出推進事業公募要領 (https://sbir3.jataff.or.jp/koubo/R5/1/%E3%80%90%E5%85%AC%E9%96%8B%E3%80%91%E3%83%95%E3%82%A7%E3%83%BC%E3%82%BA%EF%BC%93%E5%9F%BA%E9%87%91%E5%85%AC%E5%8B%9F%E8%A6%81%E9%A0%98_%E8%BE%B2%E6%B0%B4%E7%9C%81.pdf)								
する成果実績	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	_	アクティビティ①に	- JU-C/E						

				令和2年度		令	和3年度		令和4年原	芰	令和!	5年度見込み
	前年	度末基金	残高(a)							-		46,640
			らの を付額							46,720	-	
			収入							-		2
		(うち国費	と しゅう とく	(-)		(2
	収入	00	収入	П				-		_		_
		(うち国費	費相当額)			5			(-)			
収入・支出等 (単位:百万円)		そ 0	D他						-			9
(44.4717)		合計	†(b)							46,720		11
		事美	業費		△ 1⊓ 4	左车並扫				1		_
			里費		节和4	年度新規				80		143
	支出	(うち基金の事	務費))		(80)		(111
		(うち基金 の人・	:設置法人 件費)	() (-)		(33
		合計	†(c)						80		143	
		国庫返納額								-		_
	当:	年度末基: (a+b-c-c								46,640		46,508
		(うち国費	相当額)	(46,640	(_
基金設置法人の 事務人件費	ļ	事務費	} 	((-)	(-
(当該基金からの 支出を除く)	ļ	人件費	Ì	[((-)	(-
(単位:百万円)		合計	T							-		_
	交付	決定年度	単位	交付決定額			T	1	支出年度	ı	1	令和6年度以降
					令	和2年度	令和3年度	f III	3和4年度 ————————————————————————————————————	令和5年	度見込み	見込み
	2年 (下段	F度実績 战:当初見込	件:金額	F I				H	ļ	- :	-	- : -
 補助等に関する		み)	件:金額	↓ 今和4年度新担				H				
交付決定実績 (単位:百万円)	3年	F 度実績 战:当初見込	件:金額	H					ins 在 2 日 士 / -	- :	-	- : -
, + E. H.31 1/		み)	件:金額			令和4年	F度新規 	一	和5年3月末に 基金造成 			
		F度実績 8:当初見込 み)	件:金額 件:金額	成					H			_ :
	5年	度見込み	件:金額	25 : 29,615						- :	-	25 : 29,615

	実績及び残高	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度見込み
	新規出資 (下段:当初見込 み)	件:金額	:	:	:	
出資実績		件:金額	:	:	:	:
(単位:百万円)	出資償還	件:金額	:	:	:	:
	出資毀損	件:金額	:	:	:	:
	出資残高	件:金額	:	: -	:	- : -
	実績及び残高	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度見込み
	新規債務保証 (下段:当初見込 み)	件:金額	:	:	:	
債務保証実績		件:金額	:	:	:	:
(単位:百万円)	債務保証終了	件:金額	:	:	:	:
	新規代位弁済	件:金額	:	:	:	:
	債務保証残高	件:金額	:	: -	:	- : -
	実績及び残高	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度見込み
	新規貸付 (下段:当初見込	件:金額	:	:	:	
貸付実績	み)	件:金額	:	:	:	:
(単位:百万円)	貸付回収	件:金額	:	:	:	:
	新規貸倒	件:金額	:	:	:	:
	貸付残高	件:金額	:	:	:	- : -

	令和3年度事業費見込み(a)					令和3年度事業費(b)				
	(令和3年度基金シートより) 乖離額(c=a-b)			令和4年度新規		乖離率(c/a)	令和4年度新規			
	【乖離の理由等】		<u> </u>			-1- ISE — (O/ U/				
執行の乖離の	The late of the state of the st	令和4年度新規								
状況	令和4年度事業費見返				17 18 1	令和4年度事業費(b)	_			
(単位:百万円)	(令和4年度基金シートより) 令和 乖離額(c=a-b)			5年3月末	に基金造成	乖離率(c/a)	令和5年3月末に基金造成			
	【乖離の理由等】									
	『北極の珪田寺』									
	令和5年3月末に基金造成									
		₩ 11.40	計算式	保有割合	i =①46,640百万 	円/②46,720百万円 				
	1.00	算出根 拠	各項の 内容		F度末基金残高 業として必要な額(令和4年度以降支出見込額)					
				計算式	令和4年度以降 補助に係る費用	に必要となる先端技術分野のプ 及びその支援に係る管理費=	、規模技術実証を行うスタートアップ等への (A)+(B)			
保有割合 (基金事業に要する				各項の 内容	年度以降の交付	(A) 先端技術分野の大規模技術実証を行うスタートアップ等への補助に係る費用の令和4 年度以降の交付予定額 (B) 支援に係る管理費における令和4年度以降の交付予定額				
費用に対する保有 基金額等の割合)		算出根拠に用いた 事業見込みの考 え方		事業見 用標算 積拠	(A) 先端技術分野の大規模技術実証を行うスタートアップ等への補助に係る費用の令和年度以降の交付予定額:44,532百万円 公募テーマ数:14件 (B) 支援に係る管理費における令和4年度以降の交付予定額:2,188百万円					
				事込用標近 制にたのにま おける 積		∓度、消費税納付分)80百万円				
	① 事業を終了した基金			無	保有	羽合が「1」を上回り、左記④	で「無」とした場合、その理由			
		② 前回の見直し以降事業実績がない基金 又は直近3年以上実績がない基金								
	③ 基金造成時の政策目的 又は変更になった基金		った基金	無	_					
使用見込みの	④ 保有割合が「1」を大幅 金	配上回っ	ている基	無						
低い基金等の 該当の有無と 検討結果等	⑤ その他使用見込みが(金	低いと判断	fiされる基	無						
	【使用見込みの低い基金 等に該当する場合の検 討結果】	_								
	【使用見込みの低い基金 等を残置する場合の理 由】	_								
基金への 拠出時期・ 額の適切性の	【一括交付の場合】 一括交付が 必要であった理由	環境の変 あると同	変化等の 時に、資	影響を強 金調達ナ	く受けることから 」の低いスタート	ら、各年度の所要額をあらか	未だ社会実装がなされておらず、市場 じめ見込み難く、弾力的な支出が必要で かつ効率的に行うためには、あらかじめ が必要となった。			
点検	【分割交付の場合】 追加時期及び金額を 決定する際の考え方	_								

造成法人等への 調査・検査等の実	農林水産省中小企業イノベーション創出推進事業費補助金実施要領第2条9.「基金の検査」において、職員の事業場への立ち入り検査等を規定しているが、令和5年3月末に基金造成し、12月末に第1回公募の採択結果を公表したところ、現在、交付決定に向けて準備中(採択事業者からの交付申請書の提出待ち)であることから、現時点では調査・検査等は実施していない。 https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/gikai/attach/pdf/230301_081-1-9.pdf								
基金の 設置法人等の	選択方法 及び選定理由等	- 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一							
適格性の点検	基金設置法人等の 適格性の点検結果								
	基金所管部局による点検・改善結果								
			目標年度(令和〇年度)における効果測定に関する評価						
	A 1 (- 0 D - 1 - 0 - 0 - 1		本基金で実施する事業は、スタートアップが有する先端技術						

点検結果

基金を造成したところであり、現在、各種規程の整備や実施体制につ いては検討・調整中であるため、点検は実施していない。

令和5年3月末に公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会に の実証を複数年度にわたって支援するものであり、未だ社会 実装がなされておらず、市場環境の変化等の影響を強く受け ることから、各年度の所要額をあらかじめ見込み難く、弾力的 な支出が必要であると同時に、資金調達力の低いスタート アップが技術実証を安定的かつ効率的に行うためには、あら かじめ複数年度にわたる財源を確保しておく必要があること から、基金により対応することとしている。

改善の方向性

外部有識者の所見

※横断的見直しにおいては未実施。令和6年度基金シート作成の際に改めて実施する。

行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見

事業の進捗を踏まえ、定量的な成果目標を設定するなど改善が認められる。評価・フォローアップに係る委員会における定期的な評価の実施を含めた 事業の適切な進捗管理、基金の効果的かつ効率的な執行に努めること。

所見を踏まえた改善点

今後、評価・フォローアップに係る委員会における定期的な評価制度を構築し、事業の適切な進捗管理、基金の効果的かつ効率的な執行に努める。

過去に実施した 見直しの概要

備考

2024年9月25日修正

令和4年度支出額を修正したため「収入・支出」欄「費目・使途」欄及び、令和4年度の基金残高に係る「保有割合」欄「資金の流れ」欄 を修正

※令和4年度実績を記入。

【基金事業の進捗管理や執行体制等について】

- ①令和5年6月9日に閣議決定した「指定補助金等の交付等に関する指針」に基づき、農林水産省において「統括運営委員会」を設置し、基金事業の進捗管理や執行状況を定期的にモニタリングする体制を構築。
- ②基金設置法人(公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会)は、農林水産省が定めた「中小企業イノベーション 創出推進事業費補助金実施要領」(以下、「実施要領」)

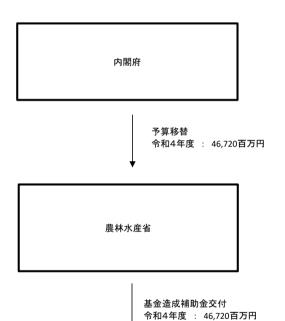
(https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/gikai/attach/pdf/230301_081-1-9.pdf)に従い、農林水産省と共同して、基金予算の配分や補助金交付に関するルール等を定めた「農林水産省中小企業イノベーション創出推進事業費補助金交付規程」を策定済み。

(https://sbir3.jataff.or.jp/koubo/R5/1/%E3%80%90%E5%85%AC%E9%96%8B%E3%80%91%E3%83%95%E3%82%A7%E3%83%BC%E3%82%BA%EF%BC%93%E5%9F%BA%E9%87%91%E4%BA%A4%E4%BB%98%E8%A6%8F%E7%A8%8B_%E8%BE%B2%E6%B0%B4%E7%9C%81v2.pdf)

③また、農林水産省は、実施要領に従い、基金設置法人と共同して、プロジェクトの公募・採択、補助金の交付決定、ステージゲート審査の実施と結果の公表、プロジェクトの進捗状況管理・フォローアップ等を実施する体制を構築。

委託

(令和5年度)



資金の流れ (資金の受け取り先 が何を行っているか について補足する) (単位:百万円)

> A.公益社団法人農林水産·食品産業技術振興協会 【収入】

補助金 46,720百万円

【支出】

管理費:80百万円(※初年度、消費税納付分)

残 高:46,640百万円

B.株式会社クニエ

採択したスタートアップの進捗管理事務の補助(資料作成等) 会議運営事務の補助

	A.公益	社団法人農林水産・食品産業技術扱	B.			
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	公租公課	消費税納付	80			
費目・使途 (「資金の流れ」にお						
いてブロックごとに 最大の金額が支出 されている者につい て記載する。費日と						
て記載する。費目と 使途の双方で実情 が分かるように記 載)						
	計		80	計		-

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法人番号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)
1	公益社団法人農林水産·食品 産業技術振興協会	8010405000743	農林水産省中小企業イノベーション創出推進事業の実施 に向けて、農林水産省中小企業イノベーション創出推進	46,720
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				